

## 白石第二小学校 外国語活動・外国語科 R5年度2月アンケート結果 考察

### 1 アンケート結果

- ・ 設問（1）では、「英語の授業を楽しみにしている」という肯定的な回答をした児童が、1年生 98%（6月 96%）、2年生 87%（6月 81%）であり、6月と比較して増加した。中・高学年では、3年生 77%（6月 89%）、4年生 76%（6月 77%）、5年生 65%（6月 73%）、6年生 75%（6月 78%）であり、6月と比較して減少した。
- ・ 設問（2）では、「進んで英語を話そうとしている」という肯定的な回答が、低学年と高学年であり、6月と比較して増加した。しかし、中学年は、3年生 80%（6月 89%）、4年生 74%（6月 81%）であり、6月と比較して減少した。
- ・ 設問（3）では、「話を聞いて分かる」という肯定的な回答をした児童が、4年生 83%（6月 79%）、6年生 84%（6月 76%）であり、6月と比較して6年生が大幅に増加した。また、3年生 72%（6月 82%）、5年生 70%（6月 71%）であり、3年生が大幅に減少した。
- ・ 設問（3）では、5年生は、「書くこと」の項目で肯定的な回答をした児童が 82%だった。また、6年生は、全ての項目において肯定的な回答をした児童が大幅に増えた。

### 2 今年度の成果

- 1・2年生は、歌やゲーム、読み聞かせなどの活動を工夫して指導してきた成果が表れ、外国語活動を楽しみにする児童が増えてきたと考えられる。
- 5・6年生は、「やり取り」の時間を確保し、すらすら言えるようになってから「ノートに書くこと」の指導を行ってきた成果が表れた。6年生では、「読むこと」にも成果として表れた。

### 3 今年度の課題

- 英語の勉強を楽しみにしている児童が中・高学年で減少した。その要因として、児童が新しい英語表現やアルファベットの文字に「難しい」と、抵抗感を感じたことが考えられる。また、高

学年では、アルファベットの「名前読み」に慣れ親しんでいても、アルファベットの「音読み」ができないため、文字と音の一致ができないことが考えられる。

#### 4 令和6年度の重点事項

- ◎ アルファベットの音読みができるように、フォニックス（発音と文字の関係性を学ぶ音声学習法）の指導をしていく。
- ◎ 高学年では、話す活動を十分にした後、その英文をノートに記述させる。
- ◎ 高学年では、授業の中で、「一人学び」の時間を持ち、個別最適な学習を行う。